



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月8日

上場会社名 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 上場取引所 東  
 コード番号 6324 URL <https://www.hds.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 啓  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 丸山 顕 (TEL) 03-5471-7810  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	53,360	28.4	8,066	23.8	8,373	24.0	5,293	18.4
2022年3月期第3四半期	41,556	56.0	6,513	—	6,751	—	4,472	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 10,338百万円(443.4%) 2022年3月期第3四半期 1,902百万円(△70.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	55.47	—
2022年3月期第3四半期	46.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	157,763	102,162	64.8
2022年3月期	143,289	98,856	69.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 102,162百万円 2022年3月期 98,856百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	11.00	21.00
2023年3月期	—	11.00	—		
2023年3月期(予想)				17.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,000	24.4	9,800	12.1	10,100	10.9	6,700	0.8	70.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	96,315,400株	2022年3月期	96,315,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,251,002株	2022年3月期	52,336株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	95,427,765株	2022年3月期3Q	96,263,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11
(2) 海外売上高	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年12月31日まで)における世界経済は、ウクライナ情勢の深刻化に起因する資源価格の高騰、原材料価格の高騰や半導体不足、インフレと物価安定を企図した欧米各国の利上げによる為替相場の急変など先行きは不透明な状況が継続しました。このような状況の中、当社グループの業績は、受注動向については前年度の急激な受注増加の反動などにより大幅な調整が見られたものの、売上高は製造業における中長期を見据えた根強い生産の高度化・自動化投資が堅調だったことに加え、高水準の受注残高にも支えられたことから過去最高額となりました。

用途別の売上高につきましては、前年同期比で、自動車市場のEV化に伴う二次電池関連やスマートフォンなどの生産自動化に使用される産業用ロボット向けが増加したことに加え、半導体製造装置向け、車載向け、その他一般産業機械向けなどの用途が増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比28.4%増加の533億60百万円となりました。

損益面につきましては、生産能力増強投資を実施したことにより、減価償却費が増加したことに加え、製造部門をはじめとする人員増などにより製造費用や販売費及び一般管理費は増加したものの、売上高の増加に伴う増益効果の影響により、営業利益は前年同期比23.8%増加の80億66百万円となりました。また、主に営業利益の増益に伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期比18.4%増加の52億93百万円となりました。

なお、製品群別の売上高は、減速装置が前年同期比25.5%増加の432億38百万円、メカトロニクス製品が同42.3%増加の101億22百万円で、売上高比率はそれぞれ、81.0%、19.0%となりました。

報告セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### (日本)

中国における新型コロナウイルス感染拡大に伴う都市封鎖(ロックダウン)の影響を受け、中国向け販売が一時的に減少したものの、生産の高度化・自動化を目的とした設備投資が積極的に行われたことにより、産業用ロボット向けの需要が増加したことに加え、半導体製造装置向けの需要が高い水準で推移したことにより、売上高は前年同期比25.9%増加の340億12百万円となりました。また、セグメント利益(経常利益)は、増収の影響により、前年同期比9.1%増加の95億55百万円となりました。

#### (北米)

金利上昇と物価高騰の懸念はあるものの、半導体製造装置向けの需要と先進医療用途(手術支援ロボット関連)向けの需要が高水準で推移し、売上高は前年同期比61.4%増加の76億50百万円となりました。また、セグメント利益(経常利益)は、増収の影響により、前年同期比102.8%増加の9億34百万円となりました。

#### (欧州)

北米と同様に、金利上昇と物価高騰の懸念はあるものの、自動化投資需要が堅調に推移したことに伴い、主に産業用ロボット向けと一般産業機械向けの需要が増加し、売上高は前年同期比19.4%増加の116億97百万円となりました。また、セグメント利益(経常利益)は、ハーモニック・ドライブ・エスイー株式取得時に計上した無形資産に係る償却費12億76百万円の負担はあったものの、増収効果により、前年同期比302.4%増加の8億18百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比で144億73百万円増加（前連結会計年度末比10.1%増）し、1,577億63百万円となりました。これは、設備投資の実行により有形固定資産が60億30百万円増加（前連結会計年度末比13.7%増）したこと、増収に伴い受取手形及び売掛金が49億73百万円増加（前連結会計年度末比31.9%増）したことに加え、商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品が40億14百万円増加（前連結会計年度末比42.7%増）したことが主な要因です。

## (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて111億67百万円増加（前連結会計年度末比25.1%増）し、556億円となりました。これは、未払法人税等が16億18百万円減少（前連結会計年度末比62.1%減）した一方で、設備投資と自己株式取得の資金調達等を目的とした借入金が76億94百万円増加（前連結会計年度末比45.6%増）したことに加え、支払手形及び買掛金が11億93百万円増加（前連結会計年度末比31.0%増）、その他流動負債が32億4百万円増加（前連結会計年度末比99.7%増）したことが主な要因です。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末比で33億6百万円増加（前連結会計年度末比3.3%増）し、1,021億62百万円となりました。これは、自己株式取得により株主資本合計が17億39百万円減少（前連結会計年度末比1.9%減）した一方で、為替変動の影響により為替換算調整勘定が48億39百万円増加（前連結会計年度末比128.9%増）したことが主な要因です。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の69.0%から64.8%になりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

主に日本国内において、スマートフォンをはじめとする電子デバイス製造工程などで使われる、中国市場向け小型ロボット用減速装置の需要に軟調な動きがみられることや、半導体の調達制約などにより一部のお客様において生産計画の変更が見られることに伴い、前回予想時点では第4四半期に生産・出荷予定であった製品の一部分について、次期への納入延期や受注の取り消しが発生または発生する見込みとなったことから、売上高の予想を下方修正するものです。

また、損益面につきましても、主に上記の売上高修正に伴い前回予想を下回る見込みとなりましたので、2022年11月8日に公表しました2023年3月期通期業績予想（連結及び個別）を下記のように修正いたします。

## 1. 連結業績予想の修正

2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	74,000	11,000	11,300	7,500	78.67
今回修正予想(B)	71,000	9,800	10,100	6,700	70.28
増減額(B-A)	△3,000	△1,200	△1,200	△800	—
増減率(%)	△4.1	△10.9	△10.6	△10.7	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	57,087	8,739	9,108	6,643	69.02

## 2. 個別業績予想の修正

2023年3月期 通期個別業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	53,000	9,500	10,000	6,700	70.48
今回修正予想(B)	50,000	8,300	8,700	5,800	60.84
増減額(B-A)	△3,000	△1,200	△1,300	△900	—
増減率(%)	△5.7	△12.6	△13.0	△13.4	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	41,120	8,358	8,702	6,545	68.00

## &lt;業績の予想に関する注意事項&gt;

本資料に掲載されている業績の予想数値につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,901,290	19,362,049
受取手形	6,963,283	8,889,527
売掛金	8,621,584	11,668,456
有価証券	27,616	20,499
商品及び製品	1,146,401	2,189,516
仕掛品	3,883,587	4,775,391
原材料及び貯蔵品	4,374,176	6,453,731
その他	976,918	1,304,975
貸倒引当金	△22,146	△24,166
流動資産合計	45,872,713	54,639,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,679,146	19,842,168
機械装置及び運搬具(純額)	14,068,453	17,324,943
その他(純額)	10,220,002	12,830,944
有形固定資産合計	43,967,603	49,998,057
無形固定資産		
のれん	15,336,072	15,077,648
ソフトウェア	250,811	213,525
顧客関係資産	19,589,451	19,259,354
技術資産	5,232,055	5,143,891
その他	27,468	95,017
無形固定資産合計	40,435,860	39,789,437
投資その他の資産		
投資有価証券	11,129,188	11,409,481
関係会社株式	90,821	100,426
退職給付に係る資産	1,207,717	1,247,713
繰延税金資産	454,910	436,964
その他	136,704	146,939
貸倒引当金	△5,600	△5,600
投資その他の資産合計	13,013,742	13,335,925
固定資産合計	97,417,205	103,123,420
資産合計	143,289,918	157,763,402

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,856,847	5,050,757
短期借入金	327,135	3,628,640
1年内返済予定の長期借入金	1,942,662	2,573,814
リース債務	471,703	504,914
未払法人税等	2,604,300	986,050
賞与引当金	1,342,333	972,888
役員賞与引当金	305,941	252,232
製品補償損失引当金	62,294	59,205
その他	3,214,171	6,418,321
流動負債合計	14,127,390	20,446,825
固定負債		
長期借入金	14,617,513	18,379,840
リース債務	3,548,469	3,979,655
繰延税金負債	9,938,302	10,286,126
役員退職慰労引当金	490,413	9,000
その他の引当金	129,193	75,057
退職給付に係る負債	1,009,659	933,018
その他	572,673	1,491,447
固定負債合計	30,306,225	35,154,144
負債合計	44,433,616	55,600,970
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,100,036	7,100,036
資本剰余金	22,762,168	22,773,595
利益剰余金	59,361,329	62,550,539
自己株式	△38,897	△4,978,535
株主資本合計	89,184,636	87,445,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,911,738	6,087,287
為替換算調整勘定	3,753,287	8,592,995
退職給付に係る調整累計額	6,640	36,513
その他の包括利益累計額合計	9,671,666	14,716,796
純資産合計	98,856,302	102,162,431
負債純資産合計	143,289,918	157,763,402



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	41,556,265	53,360,952
売上原価	25,123,376	33,888,128
売上総利益	16,432,889	19,472,824
販売費及び一般管理費	9,919,388	11,406,781
営業利益	6,513,500	8,066,042
営業外収益		
受取利息	10,640	7,322
受取配当金	126,243	129,299
持分法による投資利益	—	9,604
為替差益	—	224,898
補助金収入	235,237	185,462
その他	205,679	145,957
営業外収益合計	577,801	702,545
営業外費用		
支払利息	101,191	122,118
売上割引	7,314	11,492
持分法による投資損失	7,509	—
自己株式取得費用	—	116,897
為替差損	56,288	—
賃貸費用	125,488	108,157
その他	41,847	36,661
営業外費用合計	339,639	395,326
経常利益	6,751,662	8,373,262
特別利益		
固定資産売却益	2,715	798
補助金収入	—	2,000
特別利益合計	2,715	2,798
特別損失		
固定資産売却損	21	—
固定資産除却損	44,220	41,922
固定資産圧縮損	—	2,000
特別退職金	1,792	—
役員退職特別加算金	16,690	501,537
特別損失合計	62,723	545,460
税金等調整前四半期純利益	6,691,654	7,830,599
法人税、住民税及び事業税	2,429,676	2,669,607
法人税等調整額	△283,498	△132,819
法人税等合計	2,146,178	2,536,788
四半期純利益	4,545,476	5,293,811
非支配株主に帰属する四半期純利益	73,147	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,472,329	5,293,811

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	4,545,476	5,293,811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,808,856	175,549
為替換算調整勘定	1,127,759	4,839,707
退職給付に係る調整額	38,237	29,873
その他の包括利益合計	△2,642,860	5,045,130
四半期包括利益	1,902,616	10,338,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,603,912	10,338,942
非支配株主に係る四半期包括利益	298,703	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,215,400株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が5,000,000千円増加しております。

また、2022年7月15日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式16,734株の処分を行い、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が11,426千円増加、自己株式が60,631千円減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が22,773,595千円、自己株式が4,978,535千円となっております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	30,333,300	4,750,752	9,886,925	44,970,978	△3,414,712	41,556,265
外部顧客への売上高	27,014,436	4,740,507	9,801,321	41,556,265	—	41,556,265
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,318,864	10,244	85,603	3,414,712	△3,414,712	—
計	30,333,300	4,750,752	9,886,925	44,970,978	△3,414,712	41,556,265
セグメント利益	8,755,423	460,651	203,283	9,419,359	△2,667,696	6,751,662

- (注) 1. セグメント利益の調整額△2,667,696千円には、セグメント間取引消去△978,311千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,689,384千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	38,699,183	7,661,584	12,232,422	58,593,190	△5,232,237	53,360,952
外部顧客への売上高	34,012,194	7,650,805	11,697,952	53,360,952	—	53,360,952
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,686,988	10,779	534,470	5,232,237	△5,232,237	—
計	38,699,183	7,661,584	12,232,422	58,593,190	△5,232,237	53,360,952
セグメント利益	9,555,340	934,228	818,020	11,307,589	△2,934,327	8,373,262

- (注) 1. セグメント利益の調整額△2,934,327千円には、セグメント間取引消去△1,092,385千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,841,942千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. 北米地域への売上高には、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める米国の売上高6,475,380千円が含まれております。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 3. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		生産高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	34,186,763	29.4
	メカトロニクス製品	4,991,723	22.2
北米	減速装置	2,691,914	43.3
	メカトロニクス製品	3,156,876	121.8
欧州	減速装置	8,298,197	31.9
	メカトロニクス製品	2,253,648	24.2
合 計		55,579,122	32.6

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2. 上記金額は販売価格により表示し、消費税等は含まれておりません。  
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。  
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。  
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの生産実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

## ② 受注実績

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		受注高（千円）	前年同期比（%）	受注残高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	16,928,211	△65.7	14,188,565	△53.9
	メカトロニクス製品	3,211,304	△25.1	2,584,735	16.4
北米	減速装置	3,755,554	△18.0	5,347,127	74.5
	メカトロニクス製品	6,218,329	35.0	8,924,006	133.4
欧州	減速装置	10,722,399	18.9	7,200,466	61.3
	メカトロニクス製品	3,573,004	25.1	2,857,911	70.1
合 計		44,408,805	△40.6	41,102,812	△10.7

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。  
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。  
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの受注実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。  
 6. 受注残高は、当第3四半期連結累計期間において日本セグメントを中心に発生した3,829,716千円の受注取り消し額を差し引いております。

## ③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		販売高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	31,120,475	27.0
	メカトロニクス製品	2,891,719	15.0
北米	減速装置	3,462,210	30.4
	メカトロニクス製品	4,188,594	100.8
欧州	減速装置	8,655,759	18.8
	メカトロニクス製品	3,042,192	20.9
合 計		53,360,952	28.4

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	当第3四半期連結累計期間	
	販売高（千円）	割合（%）
株式会社羽根田商会	6,976,327	13.1

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
4. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。  
5. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。  
6. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの販売実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

## (2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）における海外売上高は、次のとおりであります。

	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	11,697,952	7,650,805	5,243,635	24,592,393
II 連結売上高(千円)	—	—	—	53,360,952
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	21.9	14.3	9.8	46.1

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。  
2. 各区分に属する主な国又は地域  
(1) 欧州……ドイツ  
(2) 北米……米国  
(3) その他の地域……中国、韓国、台湾、オセアニア  
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。